

令和4年度第1回鹿角市行政評価市民会議

日 時：令和4年7月22日（金）18時30分～19時20分

場 所：鹿角市役所 第1・2会議室

出席委員：8名中6名

事務局：〔政策企画課〕課長、副主幹兼室長、主査、主査、主査

1 開会（進行：政策企画課）

ただいまから、令和4年度第1回鹿角市行政評価市民会議を開会いたします。

（※人事異動のあった職員の自己紹介）

4 会長あいさつ

今年度、第1回目の会議となります。参考資料として配られている行政評価市民会議意見集を見ると、この会議での皆さんのご意見などが市の取組に反映されていることが分かります。本日の案件は市民アンケートの速報結果になりますので、意見交換をお願いします。

6 案件

（1）令和4年度市民アンケート実施結果（速報集計）について（資料1）

政策企画課説明

説明の概略

- ・市民アンケートの調査項目は、第7次総合計画前期基本計画に掲げた32の取組方針ごとの市の取組みに対する満足度や重要度などについて測るものとしており、設問数は10問である。
- ・対象者は、本市の総人口における男女割合、年齢別割合、地区別割合を考慮して抽出している。
- ・アンケート結果の最終版は、実施結果報告書という冊子版で委員に後日配付する。また、市ホームページ及び広報かづの9月号にて結果を公表する予定。

質 疑

（委員）資料1の6ページ以降は、アンケートの設問とリンクしているようですが、2ページ目から5ページ目が少し分かりづらいのですが、今日の資料で配付された「回答票」というのが対象者に配られたアンケート用紙の本体になりますか。

（事務局）昨年度最後の行政評価市民会議を行った際に、皆さんに実施計画をお配りしましたが、取組方針が32項目あり、回答票では、その項目ごとに、右側のページで取組の内容が分かるような記載とし、左側で評価を問うような作りにしています。

（会長）アンケートの回収率が47.9%というのが、高いのか低いのかという点についてはどう考えていま

すか。

(事務局) 昨年は700人を対象とし、回答者496人の回答率は70.9%でした。今年度から、インターネットによる回答受付を導入し、これまでの職員による訪問回収を取りやめ、郵送とインターネット回答に調査方法を変更したことから、その影響も考慮して対象者を900人としたため、母数の増加によって回収率が例年よりも低くなっています。

(会長) インターネット回答の方が手軽で回答しやすいように思いますが、そうでもないですね。

(委員) 調査対象者の年齢構成なども考慮しているのですか。

(事務局) 対象者抽出の段階で、地区や男女、年齢構成などのバランスを考慮しています。

(委員) 対象者のバランスと回答者のバランスが同じような結果になりましたか。

(事務局) 大きな差異はないと捉えています。詳細な突合せはこれから分析します。

(委員) 地域別の回収率で、私が住んでいる地区と他の地区では差がなかったのかなと気になりました。市の職員が回収に来ないと、回答しないという人もいるのかなと思いました。

(事務局) 例えば八幡平で言えば6割くらいの方から回答していただいている。

(委員) 満足度や重要度を問う設問では、年代別の傾向が読み取れますか。

(事務局) これからまとめる報告書ではより詳細な分析をしますが、30代未満で満足度が高い傾向がみられ、特に、文化財の保存に対する満足度が高く、意外な結果であると感じています。一方、重要度を高く選択する傾向が60代で多く見られました。また、30代、40代では、「適切な医療を受けられる体制の整備」について、満足度が低くかつ重要度が高いと評価する方がとても多く見られました。

(委員) 60代の回答がとても多いと感じますが、これから鹿角市を担う40代以下の世代から、いかに回答してもらうかが大切だと思います。文化財の保存で満足度が高いことでも表れているように、積極的に鹿角の魅力をアピールすることが評価につながるのかなと思います。最後の設問のまちの満足度でも、鹿角市が快適な暮らしができる誇れるまちだといいながらも、市外から人が訪れたくなる魅力のまるまちだとは思わないという残念な結果となっているので、団塊の世代よりも若い世代に回答してもらえるようにした方がいいのではないかと思いました。

(事務局) この市民アンケートの目的としては、市民が市政をどのように評価しているのかということに着目して実施されているものであり、市の人口の年齢構成とアンケート対象者の年齢構成が同じようなバランスとなるように調査していますが、おっしゃるとおり、若い人たちにとって魅力的なまちになるよう、若い方の意見を市政に取り入れることは大切だと認識していますので、様々な手法で意見を聴いていきたいと思います。

アンケート調査の補足説明になりますが、統計学的には回答者が400人を超えると許容誤差が5%以内となり、十分な信頼度があるとされているため、400人以上の回答を得ることを目安としています。

(委員) 30代未満で満足度が高いという結果とのことです、そもそも30代未満の回答者数が少ないので、割合ではなく人数としては他の年代が多くなるのかなと思います。

(事務局) 分母が少ないので、一人の回答がその年代の結果に大きく影響すると考えられますが、満足度で言えば30代、40代においてもやや同じくらいの結果となっていますので、比較的若い年代では、同じような傾向がみられると捉えています。

(委員) 最近、テレフォン病院24を使う機会があり、つながりにくい時間帯もあるのですが、対応が丁寧なので子育て世代は助かる仕組みだと思うのですが、周りでは知らない人も多いと感じるので、もっと周知

されるといいと思いました。

(事務局) 電話がつながりにくいのはいつごろの時間帯ですか。

(委員) 風邪の流行時などの影響もあるかもしれません、夜の6時から8時くらいで、呼び出し音が続くことがありました。でも、こういうものがあると安心できますし、その日の当番医の情報や病院での症状の伝え方なども教えてくれるので、テレフォン病院24に電話をかけてからの方が実際の診療もスムーズに進むと感じています。

(事務局) 限られた医療資源でもあるので、このテレフォン病院24を利用していくだけだと、特に救急医療部門では大変助かる取組みだと聞いています。今回のアンケート結果でも分かるように、認知度が低いので、どのような対策を講じるか考えていきたいと思います。

(委員) 11ページ7番の中心市街地についての設問で、30代未満の満足度が高い傾向とのことです、昨年度に比べて花輪地区に住んでいる人の満足度が低くなったのかなと感じますが、コロナ禍の影響もあるのでしょうか。

(事務局) ほかの設問にもいえることだと思いますが、総じてコロナ禍の影響が出ていると思います。中心市街地の満足度では、去年と比較して30代の満足度の落ち込みが大きくなつたと感じています。理由の一つとして挙げられるのが、買い物環境の魅力という点ですが、長引いているコロナ禍の中で、店舗の疲弊もあるかと思いますし、ECサイトでの買い物への慣れも影響しているのかなと思います。地区でみると、十和田地区が低い傾向がみられますが、十和田地区にも一定の商業圏があるため、中心市街地の利用が他地域よりも少ないというのが無回答の多さにも表れているのではないかと分析しています。また、尾去沢地区の満足度が下がっているのが気になる点で、公共交通のアクセスなどの他の要素も影響する可能性もありますが、今後、詳しく分析したいと思います。

(委員) コロナ禍前は子どもの日などのイベントも多かったと感じますが、コロナ禍でイベントもなくなり、賑わいもなく、商店街も高齢化しているという、マイナス要素だけになってきているような気がするので、若者が自分たちで地域を盛り上げるための支援を充実してもらいたいと思います。

(事務局) 以前はイベント支援を行っていましたが、イベント自体が目的となってしまい、人が集まつても商店街での買い物につながらず、商業支援とは言えない状況でした。賑わいの創出と同時に、経済効果にもつながるような仕組みを産業活力課とも情報共有して検討したいと思います。

(事務局) 今年は武蔵野大学の研究活動の受け入れも再開しますが、今年の研究テーマの一つを中心市街地の活性化しています。大学生と地元の中高生が約1週間かけて、地元企業や商店などをインタビューしたり、ワークショップをしたりして研究成果としてまとめる予定です。

(委員) 以前、学生の受け入れにかかわったことがあります、発表会をして終わりという印象があり、いいことを提案されたとしても、地元企業には余力がないため、できることも限られて継続性がなく、とてももったいないと思うので、それが次の年までも続くように地元の高校生たちが橋渡しをすると、一段階上の取組みになるようにしてほしいと思います。企業が努力するべきものではあるとは思いますが、もっとバックアップしてもらえば商店街ももっと元気になると思います。せっかく都会から学生が来てくれるので、地元の中高生も一緒になって取り組んでもらえれば良いと思います。

(委員) 先日、大湯の道の駅でイベントを開催していましたが、高校生がボランティア活動をしていて、とてもいいことだなと思いました。

7 その他

(事務局) 参考資料として、令和4年度のスケジュールをお配りしています。一番上の外部評価の部分が、皆さまにお願いしています行政評価市民会議となります。市民アンケートの結果の分析も含め、令和3年度の市の取組について内部評価を行い、その結果について、8月下旬の開催を予定しております第2回行政評価市民会議にてご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

(事務局) 市の内部で自分たちの評価をしているところですが、それに加えて、市民アンケートの結果で、満足度が低く重要度が高い分野について、次年度どのように取り組んでいくのかということを詰めていき、今後の市民会議でご説明したいと考えております。もう一つの参考資料で、意見集がありますが、色付きとしている部分は、昨年度の最後の会議の意見を追加しているところですが、特に右端の継続検討課題としているものについても、担当課にも伝えながら今後の取組を検討いたします。

8 閉会 (19:20 終了)